



第二中学校だより

新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10

「明るい挨拶 光る汗 きれいな学校 きれいな心」

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

リングルマン効果の影響を受けない

校長 伊藤 進

雨天のため順延になった体育祭、9月19日に晴天の中、開催することができました。開催にあたり地域、PTAの皆様にご支援を賜り感謝申し上げます。開会式で代表生徒が熱い想いを語ってくれ、全生徒の力を結集した大会スローガンにふさわしい体育祭になりました。

ご覧いただいた多くの方々にも感動と清々しさをお届けできたことと思います。また、新人体育



大会朝霞地区予選会も始まり、生徒会本部、各種専門委員会なども改選期を迎え、3年生からバトンを受けた1・2年生が学校を牽引する時となりました。そこで「リングルマン効果」について、触れてみたいと思います。ドイツの心理学者リングルマンは「人数を変えて綱引きする」実験をしました。1人で綱引きをした時は、100%の力を発揮できたのに、人数が増えるにつれて1人当たりの出す力が弱くなります。2人で綱を引っ張った場合93%、3人では85%、8人では、1人当たり何と49%の力しか出せないという結果になりました。つまり、8人いても4人分の力しか出せていないことを実証しました。人数が増えるにつれて、意識的に「サボってやろう」と思っていなくても、無意識に他を頼って手

を抜いてしまう心理が働くということです。綱引き実験とは別に様々な実験を行い、効果は他の視点からも実証されました。「人は特定の仕事をおこなうときに周囲に対して自分の貢献度が隠れている場合には怠惰になる。」リングルマン効果は社会的手抜きとも呼ばれ、多かれ少なかれ集団の場合は必ず働くそうです。それでは、人の心理は変えられませんが、依存心を排し、集団の中で、自分が最大の力を発揮するためには、どうしたらよいのでしょうか。

スポーツの名監督の多くが言うことは、「やらされる」のではなく、自ら進んで「やりたい」と思うように一人ひとりを育てることが重要であると言っています。つまり、自分が主役になる、活躍するという意識を一人ひとりが強く持つことが必要です。

これから、3年生は最後の合唱祭など仲間と協力しながら行事に取り組むとともに進路決定の正念場を迎えます。1、2年生は合唱祭や部活動など集団の力を発揮する場面がたくさん出てきますが、「みんなで一緒にいることで安心してしまっただけで力が出せない」ということではなく、集団の中の自らの役割を自覚し、それぞれが目標に向かって協力し合い、お互いを高めることが必要ではないでしょうか。「リングルマン効果」の影響を受けない。学校生活に期待します。